

孤立を恐れず主張すべきは主張する

外交を

日本人の血を誇りに思った元ハワイ

州知事

つまり、これは何を意味するかというと、日本は世界のあるべき姿を論じるなど出過ぎた真似は致しません、世界が決めて頂ければ、その通りにします、そういうことが憲法前文に書いてあるわけです。その通りに我が国の外交官は活動してきた。その結果がこういう事になっているわけです。

さて、北朝鮮がミサイルの発射を行いました。小泉内閣で私が官房長官、麻生さんが外務大臣の時です。ちょうど日本は国連安保理の非常任理事国でもあったので、制裁を含む非難決議を行いたいと三人は考えました。その時の最大の障害は、中国が拒否権を発動するのではないかと、という懸念でした。ヨーロッパの国々にとって北朝鮮のミサイルは直接の脅威ではないし、もし中国が拒否権を発動したら日本は孤立する、そんな雰囲気でした。

そこで私は麻生外務大臣と相談しました。万が一、中国が拒否権を発動したとき、誰が勝者で誰が敗者なのか？。中国は世界から「何だ、北朝鮮と同じ事をしているのか」と思われるだろう。果たして北京オリンピックを控えて本当にそんなことをするだろうか。

一方、日本はミサイルの脅威を直接受ける国で、安全保障に重大な懸念が生じている以上、日本には非難決議を主張する当然の権利がある、また、日本が強く主張しない限り、誰もついてこない、我々はその時そう判断した訳であります。皆さん、日本の安全保障が決定的に脅かされるような時には、日本は孤立を恐れることなく、主張すべきは堂々と主張し、主導的な事を成し遂げなければ事をなすことは出来ないのです（拍手）。



首脳会談では常に常任理事国入りと拉致問題の協力を要請したという安倍元首相

このほど、ソマリアの海賊対策で海上自衛隊が派遣される事になりました。「日本の船しか護れないのか」と聞くと、「日本と取引ある船は大丈夫です」と言います。すると、海賊の襲われている艦船にいて、最初に「日本と取引ありますか?」と聞かねばならない事になってしまいます。こんな事は常識の問題ですが、やはり憲法の改正や**集団的自衛権**の問題は避けては通れないと実感いたします。

もちろん、私は自国の国益だけを主張せよとっているのではありません。世界はこうあるべきだと日本が語り、日本はこういう責任を果たしますとアピールすることです。私は首相在任中に77カ国の首脳と会談しましたが、その全てに**国連**の常任理事国入りへの理解と支援、拉致問題に関する理解と協力を訴えて参りました。(拍手)

サンドイッチを道具箱に入れる靴磨きの少年

先ほど、昭和天皇が昭和21年に御製を読まれた年に、日系**アメリカ**人のジョージ・有吉さんという方が進駐軍の一員として日本に駐留します。彼はその後、日系人としてはじめて**ハワイ**州知事になった人なのですが、その後にこんな事を書いています。彼は丸の内の郵政ビルに務めたそうですが、そのビルの前に常に一人の靴磨きの少年が立っていたそうです。

この少年はいつも背筋を伸ばして礼儀正しく、真面目に仕事をしていたといえます。しかし身なりはみすぼらしく、いつもお腹をすかしていそうだと同情した有吉さんは、食堂に行ってパンにバターとジャムをつけ、サンドイッチをつくってナプキンに包んで持っていきました。「食べなさい」といって。するとその少年は自分の道具箱に大事そうにしまったというのです。

「何でいま食べないの、お腹空いているんでしょう?」と聞くと、少年は「私には三歳の妹がいます。お腹を空かせて家で待っています。頂いたサンドイッチは家で妹と一緒に頂こうと思います。ありがとうございました」と礼儀正しくお辞儀をしたそうです。

このとき、有吉さんはどう感じたか。彼には日本人の血が流れていますが、惨めに戦争に負けて、何となく日系人であることにコンプレックスを抱いていたようですが、「その少年を見て自分にも同じ日本人の血が流れていることを誇りに思った」とそう書いております（拍手）。



明治神宮の奉納吹奏楽のスナップ

この少年達こそが戦後の日本の復興、修身を担ったのではないかと、そう思います。そしてこの少年達を育てたモノは何か、それは私は日本の教育ではないかと、こう思うわけです。この四月から、改正された教育基本法により、新しい学習指導要領に基づいた授業が行われるようになりました。

理科、国語、算数という基礎的な科目は授業時間が一割増に、週に二時間、道徳の科目が教えられるようになります。そして中学校では剣道・柔道といった日本の武道が必修科目になりました。もちろん、教育は学校だけに任せるものではなく、地域や家庭、そして社会ぐるみで進めていかねばならないものであります。

日本の欠点をあげつらうよりも、日本を貶めることに情熱を燃やすよりも、皆さん、日本の明日のために語ろうではありませんか、共に素晴らしい国をつくるために頑張ってください。来年の建国記念の日にはほとんどの家庭で日の丸の国旗が掲揚されることを願って、終わりたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

カテゴリ: コラム フォルダ: 指定なし



コメント(13)

タグ: 安倍晋三 美しい国へ 建国記念日 中央式典 主張する外交

コメント(13)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **kaigaramusi** さん

花うさぎさん、おはようございます。

2009/02/14 06:11

本当にいちいち納得できる
分かりやすいお話ですね。
私は本当に、安倍元首相に好感を抱きます。

主婦仲間にも浸透させなくては・・・

2009/02/14 07:03



Commented by **患者ID112904** さん

おはようございます。
花うさぎさん

2009/02/14 07:45

有難うございます。
永久保存版です。何度も読み返します。

エントリー外ですが、先日紹介の有った政治ブログの「中韓を・・・」のブログエントリーで小泉発言を支持した内容に対するコメントも異常な投稿ですね。



Commented by **花うさぎ** さん

To kaigaramusiさん おはようございます。

>私は本当に、安倍元首相に好感を抱きます。

やはり真性保守の要の一人ですから。靴磨きの少年の話を聞いて、「焼き場の少年」の写真を思い出しました。

>主婦仲間にも浸透させなくては・・・

是非、よろしく願います(^ ^)。



Commented by **花うさぎ** さん

To くぼたさん おはようございます。

2009/02/14 07:48

>永久保存版です。何度も読み返します。

ありがとうございます。

>「中韓を・・・」のブログエントリーで小泉発言を支持した内容に対するコメントも異常な投稿ですね。

私も見ていますが見事に一般の空気と違いますね。小泉さんも定額給付金云々は余計だったと思います。



Commented by **風来坊** さん

教育、国防、皇室・・・国の根幹に関わる部分で元の安部さんらしさが出て来たようですね。岸さんの血がそうさせているのでしょうか。

思想・信条については申し分ない安部さんへの私からの注文はただ一つ。それは「威風堂々たれ！」ということです。あの顔立ちであのソフトな語り口は一方で頼りなさを与えることも事実。思想・信条を披瀝する時だけは小泉の顔つき・語り口を見習って欲しい。政治は言葉、男は顔です。

2009/02/14 08:03

花うさぎさんの集会や講演会のレポートをいつも感心しながら、且つ疑問に感じながら拝見しています。疑問というのは、何故こんな精緻なレポートが書けるのだろうか？ということです。多分、録音しておられるのだろうか？と拝察していますが。だとすると、テープ起こしがさぞ大変だろうと…。それともテープ起こしの最新兵器でも使ってらっしゃる？
いずれにしても、そのご苦勞を徒や疎かにすべからじ、という思いで拝見しております。



Commented by **花うさぎ** さん

To 風来坊さん おはようございます。

2009/02/14 09:15

>安部さんへの私からの注文はただ一つ。それは「威風堂々たれ！」ということです。

これはその通りだと思います。頼りないという印象を与えている事は事実ですね。

>いずれにしても、そのご苦勞を徒や疎かにすべからじ、という思いで拝見しております。

いや、表向きは駄目な集会でもなんとかごまかして写真・録音をしてテープ起こししていま

す。これが私は苦手で非常に時間が掛かるので苦労してます。

2009/02/14 18:59

音声ファイルを公演収録風にテキスト化できるソフトでもあると本当に助かるのですが(^
^);。



Commented by **相模さん**

昭和30年代、若かった父は祝祭日になると、小学生の私に国旗の掲揚を命じました。私はそれを玄関口に立てます。父は決して国粋主義者でも何かの主義に走った人間でもありませんが、国旗の掲揚は息をするように自然でした。

2009/02/15 00:13

中学生になって周囲の家屋を見ると、国旗の掲揚は近所では我が家と数件に限られました。高校に入る頃は多分もうゼロ。周囲にアパートが建ち、マンションとなり、私も止めました。

しかし、最近しきりと国旗を立てたい気持ちが湧きます。国旗を買わねば、ウチ1軒でもいいから立てようという気分になります。何だか亡父と新しい会話が始まるような気さえません。言葉に酔うのは嫌いですが、「美しい日本」とはある種の愛情表現でしょうか。



Commented by **parkmountさん**

To 花うさぎさん

>To kaigaramusiさん おはようございます。

>

>>私は本当に、安倍元首相に好感を抱きます。

>

>やはり真性保守の要の一人ですから。靴磨きの少年の話を聞いて、「焼き場の少年」の写真を思い出しました。

>

>>主婦仲間にも浸透させなくては・・・

>

>是非、よろしく願います(^ ^)。

こんばんは。

私もあの「死んだ弟を弔いに来た少年」を思い出していました。

良いお話をありがとうございます。



Commented by **parkmountさん**

To 相模さん

>昭和30年代、若かった父は祝祭日になると、小学生の私に国旗の掲揚を命じました。私はそれを玄関口に立てます。父は決して国粋主義者でも何かの主義に走った人間でもありませんが、国旗の掲揚は息をするように自然でした。

>

>中学生になって周囲の家屋を見ると、国旗の掲揚は近所では我が家と数件に限られました。高校に入る頃は多分もうゼロ。周囲にアパートが建ち、マンションとなり、私も止めました。

>

>しかし、最近しきりと国旗を立てたい気持ちが湧きます。国旗を買わねば、ウチ1軒でもいいから立てようという気分になります。何だか亡父と新しい会話が始まるような気さえます。言葉に酔うのは嫌いですが、「美しい日本」とはある種の愛情表現でしょうか。

私も同じような体験を致しました。小生の父は今もやっています。特にあの正月の玄関のしめ縄飾りと日章旗、そして清々しい元旦の朝の事が写真のように脳裏に焼き付いています。



Commented by **花うさぎさん**

To 相模さん おはようございます。

2009/02/15 00:30

2009/02/15 08:53

>しかし、最近しきりと国旗を立てたい気持ちが湧きます。国旗を買わねば、ウチ1軒でもいいから立てようという気分になります。何だか亡父と新しい会話が始まるような気さえます。

是非、そうしてください。良き伝統を復活させましょう。

2009/02/15 08:56

>言葉に酔うのは嫌いですが、「美しい日本」とはある種の愛情表現でしょうか。

我々日本国民が「美しい日本」を作り上げなければ、という理解で良いのではないのでしょうか。



Commented by **花うさぎさん**
To parkmountさん

>私もあの「死んだ弟を弔いに来た少年」を思っていました。

涙なしには見られない傑作写真ですね。



Commented by **すずめめだかさん**

2009/02/16 13:44

今回の靴磨きの少年の話にもぐっときました。

また亡くなった弟を背負った少年の写真も涙も出ますが、これこそ日本が復活すべき姿と強く響きます。

私達はこれらの真意を受け継ぐ事こそ戦争で亡くなった多くの人々に報いる事になるではありませんか。



Commented by **花うさぎさん**
To すずめめだかさん

2009/02/16 14:11

>今回の靴磨きの少年の話にもぐっときました。

これも比較的によく知られた話です。たしか産経新聞の「やばいぞ日本」失われたものシリーズでも紹介されていたと記憶しています。

>また亡くなった弟を背負った少年の写真も涙も出ますが、これこそ日本が復活すべき姿と強く響きます。

どん底の戦中戦後に生きた少年でもこれだけの矜持を持っていたのですからそれまでの日本の教育は素晴らしかったのだと思います。

>私達はこれらの真意を受け継ぐ事こそ戦争で亡くなった多くの人々に報いる事になるではありませんか。

[靖国神社](#)に眠る二百数十万人の英霊が今の私達を見てますからね。しっかりしないと。